



高速道路での交通事故防止

① 全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの着用

シートベルトは、交通事故に遭った場合の被害を大幅に軽減するとともに、正しい運転姿勢を保つことにより疲労軽減させるなど、様々な効果があります。

自動車を運転する時は、運転手自身がシートベルトを着用するとともに、助手席や後部座席の同乗者にもシートベルトを着用させることが**運転者の義務**です。



② 十分な車間距離の確保

車の停止距離は反応速度や天候・路面状況により変化するため加齢や路面が濡れていたりすると停止距離が長くなります。

そのため、高速道路では車間距離が短かったり、一瞬のわき見が大事故につながります。

高速道路を走行する際は運転に集中するとともに、**緊張感をもった運転**を心がけましょう。



③ 早めの休憩と逆走の防止！

長時間の運転や深夜の運転は、注意力の低下や居眠り運転の要因となるので、余裕のある運行計画を立て、最寄りのサービスエリアやパーキングエリアなどで早めに休憩や仮眠をとりましょう。

高速道路では**看板や案内表示を乗車前に確認**し、自分の進行方向に間違いが無いかを確実に確かめて出発しましょう。



高速道路における緊急時の3原則

故障や事故でやむを得ず車を停車させた場合

- ① 路上に**立たない** ② 車内に**残らない**
- ③ 安全な場所に**避難する**



高速道路における緊急時の対処法

- ① **ハザードランプ**を点灯させ、路肩に停車
- ② **発煙筒、三角停止板**等を後方に設置
- ③ **ガードレールの外側**など安全な場所に避難
- ④ 発生した故障・事故状況を**通報**

